

別紙2 標準オプション機能要件確認表の記入方法

1. 各業務ごとのシートに回答すること（全10業務）。
2. 標準仕様の「実装区分」で「○（標準オプション機能）」となっている項目について回答すること。
3. 「瀬戸市優先度」欄には、本市としての優先度を記載している。
優先度の区分及び項目数は以下のとおりである。

【瀬戸市優先度の区分・項目数】

A：実装を求める B：実装又は代替手段が望ましい C：実装を求めない

		瀬戸市優先度			小計
		A	B	C	
業務内容	介護保険共通	85	20	35	140
	被保険者資格	24	0	8	32
	保険料賦課	30	4	7	41
	保険料収納	31	2	3	36
	滞納管理	14	26	2	42
	受給者管理	41	19	35	95
	認定管理	64	26	36	126
	給付管理	102	29	82	213
	統計・報告等	0	12	1	13
	総合事業	85	47	53	185
合計		476	185	262	923

4. 「提案システムの実装有無」に以下の区分に従って回答を記入すること。
◎：システムに実装している。 ○：オプションとして実装可または代替提案可
△：実装または代替手段について協議 ×：対応不可
5. 「特記事項」欄には代替提案がある場合等、特記事項があれば記載すること。
6. 本表は、厚生労働省が示す「標準仕様書（介護保険）第5.0版」（令和7年8月）に基づき作成しているため、帳票要件、帳票レイアウトも原則、第5.0版に準拠して検討すること。
7. 採点は以下の算式で行う。
50点×割合=点数

$$A \text{で} \odot \text{の総数} \times 4 + A \text{で} \circ \text{の総数} \times 3 + A \text{で} \triangle \text{の総数} \times 2 +$$

$$B \text{で} \odot \text{の総数} \times 3 + B \text{で} \circ \text{の総数} \times 2 + B \text{で} \triangle \text{の総数} \times 1$$

$$\text{割合} = \frac{\text{分子}}{\text{分母}}$$

2,459 (Aの項目476×4点+Bの項目185×3点)